

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子

です

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 Tel.3783-8833 このニュースについてのご意見、
日本共産党区議団控え室 Tel.5742-6818 ご要望をお寄せください。



ついに品川でも!

住民税非課税者・3万5000円

補聴器購入費の助成が実現

さらに港区並み (13万7000) の助成を求めて頑張ります

8回の請願運動と
議会論戦が実現への力に



昨年の8月24日、山添拓参院議員と宮本徹衆院議員と地方議員が一緒に厚労省へ「補聴器の購入費助成を」と申し入れ。鈴木も発言。

品川区が新年度予算化した、加齢性難聴者への補聴器購入費助成制度は、①対象者・65歳以上の住民税非課税者②助成額・3万5000円というもの。

区議会に、2019年から8回もの「補聴器購入費助成制度を求める請願」が出されました。特に7回と8回目は年金者組合や新婦人の会、守る会や民医連、CU東京など労働組合等9団体が請願者

になるなど幅広く取り組まれました。

共産党はそのたびごとに様々な研究結果や国際アルツハイマー病協会国際会議のデータなどを根拠に徹底して論戦。

「補聴器を正しく装用することがどれほど生活の質を変え、喜びになるか、認知症予防からもとても大事」と訴えました。

しかし品川区は「助成制度をつくる考えはない」と繰り返し答弁。

この間共産党は都議団とも連携し、一般質問で取り上げ、請願に賛成の本会議討論も3回行い、他の会派に賛同を呼びかけてきました。しかし、賛成は共産6、ネット3、維新2の11名。自民や公明、イノベ（立憲等）が反対し、8回すべて不採択としました。

この2年余で購入費助成制度は、23区で8区から18区に広がりました。品川は19番目です。

港区・非課税者13万7千円、課税者6万8500円助成

特に昨年4月から実施した港区の助成制度は、自ら「港区モデル」と称するすばらしい中身です。

対象・60歳以上・区指定の医療機関で補聴器が必要と診断された人。補助限度額・13万7千円、住民税課税者は1/2の上

※带状疱疹ワクチン予防接種費用の助成も実現（詳しくは裏ページ）

限6万8500円。さらに一聞
こえのチェックリスト」の活用
や「聞こえに関する講座」等
による難聴高齢者の早期発見、補
聴器相談医や認定補聴器技能者
との連携で、購入前の相談から
アフターケアまで支援する仕組
みです。

厚労省が補聴器利用の提言

厚労省は「自治体における難
聴高齢者の社会参加等に向けた
適切な補聴器利用とその効果に
関する研究」を行い、自治体に
対する「提言」を出しました。
その中身は、①難聴の早期発見
へ健診制度をつくる②補聴器相
談医や認定補聴器技能者の周知
③使い続けるためのフォローアッ
プ、区民への啓発。そのため
の体制整備を求めています。共
産党私・鈴木と石田区議は、この
提言をもとに論戦しました。

港区並みの助成制度を 品川でも！

今回の補聴器購入費補助制度
は港区に比べ、助成額、所得制
限など不十分です。しかし、区
民の運動と共産党の議会論戦で、
品川区の「制度をつくる考えは

ない」との姿勢を変えさせたの
だと思えます。第1歩を踏み出
したことを確信に、さらに港区
並みの助成制度まで一緒に運
動を広げていきましょう。
また、対象者も65歳で
はなく、18歳以上まで拡
大が必要です。

発症した人のうち2割が帯状疱疹後の神経痛に、その他の合併症として、顔面の症状の場合重症化すると視力低下や失明することもあり、また耳のところにできるとハント症候群と呼ばれる顔面神経麻痺になります。

私は、関東通信病院（現NTT関東病院）のペインクリニック外来で看護師として数年間勤務していた時に、帯状疱疹の後の神経痛でつらい思いをする患者さん、ハントのマヒに苦しむ患者さんを何人も見てきました。神経痛になってしまった痛みを取るのには難しく、激痛が何年間も、一生残る方もいます。人生が痛み等の後遺症によって狂わされてしまいます。

帯状疱疹は早期の抗ウイルス薬治療が必要です。その啓発も大事です。

そもそも帯状疱疹にならないために、ワクチン接種が可能になり、医師会の先生方からも助成制度が求められています。区としても助成制度をつくって頂きたい。

带状疱疹ワクチン予防接種 費用の助成が実現

予算
4500万円

- 対象者：50歳以上
- 助成額：①弱毒化生ワクチン5000円/1回分
②不活化ワクチン10,000円/1回（2回分助成）
- 接種は、区内契約医療機関
- 4月予診票交付の受付開始。7月助成開始

私・鈴木は、11月の決算委員会で带状疱疹ワクチンの助成制度について取り上げ、以下のように求めました。

带状疱疹は、子どものときの水ぼうそうのウイルスが体内の神経節に潜伏し、過労やストレスなど免疫力が低下したときにウイルスが活性化して発症します。日本人の90%がウイルスを持っていて、50歳から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われています。

リニア新幹線学習会

品川の住宅地の真下を抜ける リニア新幹線トンネル工事

—地盤工学の専門家から見た工事の危険性

講師：稲積真哉先生（芝浦工業大学教授）

3月4日(土) 13:30～

荏原第5地域センター第1集会室
(東急大井町線・下神明駅徒歩2分)

主催：リニア新幹線の中止を求める品川区民の会

無料

法律・生活相談会

2月21日(火)午後5:30～

鈴木ひろ子事務所

中延2-11-7 ☎3783-8833 ☎5742-6818

弁護士さんが対応します。
どんな問題でもお気軽にご相談
ください。